

市民経済部経済観光課
都市整備部都市計画課
都市整備部道路交通課
環境部公園緑地課

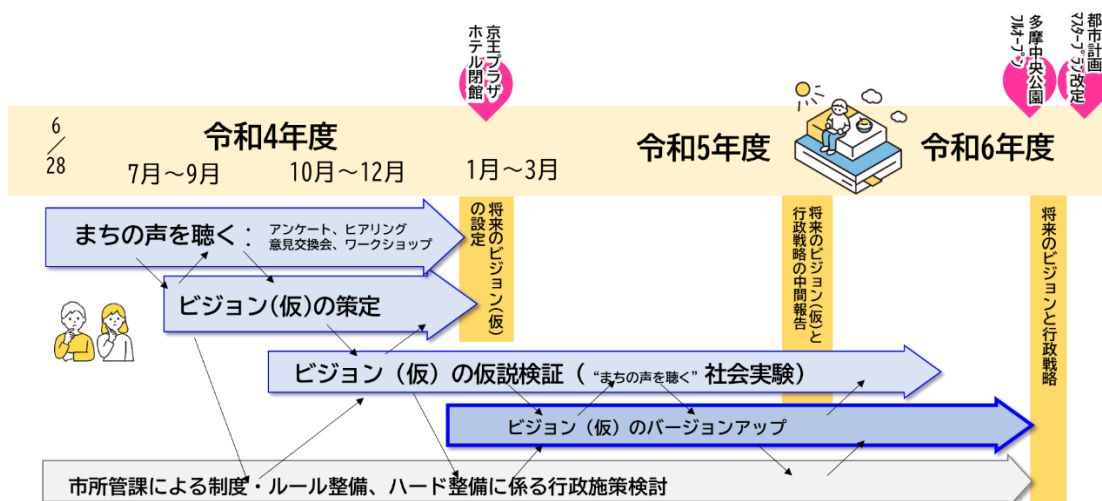
未来の多摩センターってどんなまち？ ～令和4年度仮ビジョン策定し、今後3か年で社会実験と各種計画へ反映～

1 実施内容・スケジュール

開発当時は最先端を誇った多摩センターの街並みでしたが、近年のライフスタイルの変化や新型コロナウイルスの影響により、街のつかい方が大きく変わってきています。公共施設のリニューアルが進む一方で、令和5年1月に京王プラザホテルが閉館するなど、街が変化し続けることを見越して、10年、20年先も持続可能な多摩センターの街のあり方を考えます。

なお、多摩中央公園フルオープン、都市計画マスタープラン改定を予定している令和6年度末まで3か年をかけ、ビジョンと行政戦略を具体化することを目指し、令和4年度は役所内外の若手中心のメンバーを集めて「多摩センターの将来のビジョン（仮）（以下「ビジョン（仮）」という。）を描いていきます。

【多摩センターの将来のビジョンの＜検討スケジュール＞】



第1回 多摩センターの将来のビジョン（仮）ワークショップ

「多摩センターの未来をデザインしよう！」

日時：令和4年7月23日（土）15時30分～

場所：パルテノン多摩4階会議室3・4

定員：40名程度（当日先着順）

内容：多摩センターの将来のビジョン検討にあたって、現状、スケジュール、今後の検討手法など、キックオフミーティングを開催します。

※市制施行50周年記念イベント「くらし・たのし・たまし」と同時開催し、未来を考える取組みをスタートします。ぜひみなさまのご参加もお待ちしております。

2 背景

多摩センターの活性化に関する議論や体制の具体的構築は、平成 12 年には多摩そごうが撤退したことに端を発します。また、平成 28 年パルテノン多摩の大規模改修事業を契機とし、多摩センターに存する公共施設等が点ではなく面として発展的かつ持続可能なまちづくりを進めていくため、「多摩センターのさらなる活性化に向けた取組み方針」（以下、「方針」という。）を定めソフト・ハードの管理・推進を行ってきました。

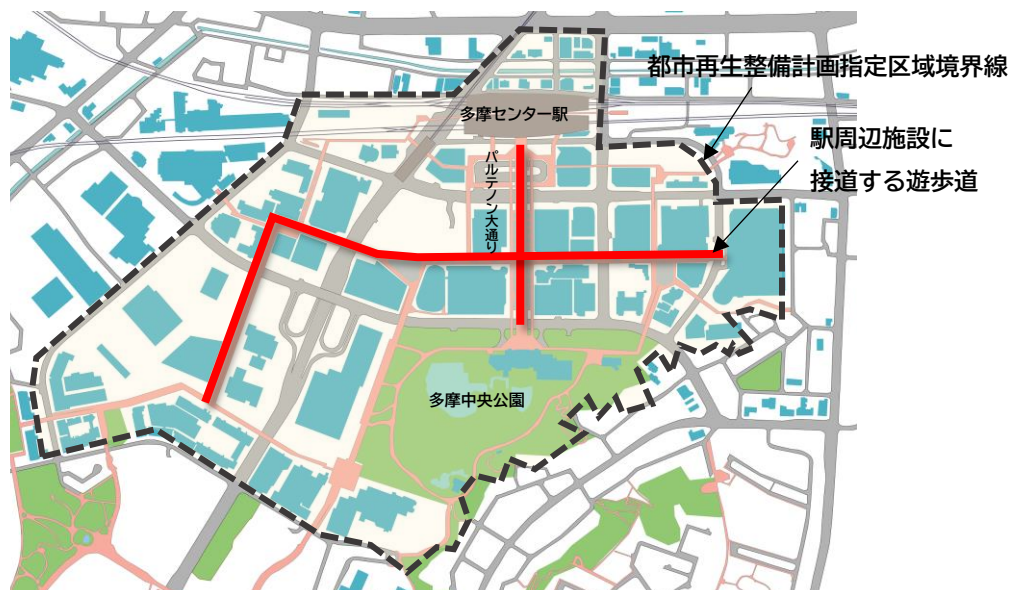
令和 3 年度、都市再生整備計画の計画が期間満了を迎えることや各種公共施設のハード改修・整備の方向性が概ね決定する目途がたちました。その間、デジタルテクノロジーの進化や環境問題への意識の高まり、そして世界規模の新型コロナウイルス感染症の影響より、人々の生活様式は大きく変化し、まちに求める価値も変わってきています。そのような中、令和 5 年 1 月に京王プラザホテル多摩が約 30 年の営業に幕を閉じることが発表されました。

行政施策のフェーズ転換と社会情勢の大きな変化が重なる節目の年となった令和 3 年度、市は、現状整理・調査検討を重ねるなかで“多摩センター”という成熟した都市においては、「絶対的正解のない問題」が積み残っていることにより、「まちの価値」を維持していくことが困難になっていくことへの危機感を改めて確認しました。

令和 3 年度の市の検討結果及び多摩中央公園を中心としたエリアがリニューアルする令和 7 年度までの概ね 3 年間を目途とした「行動指針（令和 4 年度～令和 6 年度）～これからの多摩センターのあゆみ方～」（以下「行動指針」という。）を策定しました。行動指針は、今後の多摩センターにおける「絶対的正解のない課題」に対応し、方針に代わる『多摩センターの将来のビジョン及び行政戦略』を、令和 6 年度に具体化していくにあたり、市の多摩センターにおける今後の動きの基本的姿勢をまとめました。

3 エリアイメージ

多摩センターでは、下記の点線内のエリアを都市再生整備計画区域とし、公共ハード整備を進めてきました。パルテノン大通りや周辺施設を中心とした多摩センター周辺エリアを基点として、ビジョン（仮）を描きます。

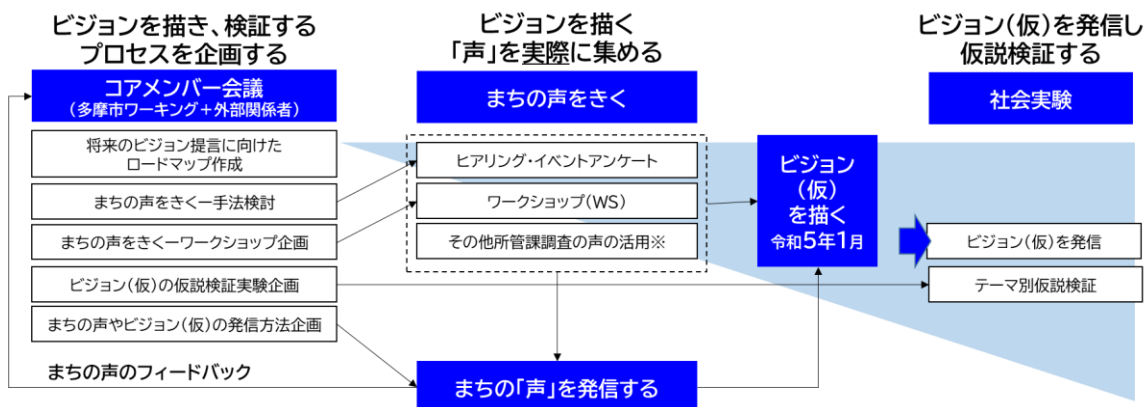


4 令和4年度の進め方

多摩センター駅前は商業・文化施設、業務系企業が集積、一方で遊歩道を10分も歩けば住宅地が広がっています。また、3路線が乗り入れる交通の結節点であり大学生の利用も多い多摩センターは、居住者、就業者、来訪者などが行き交う場所となっています。

このようなポテンシャル（特徴）を踏まえ、ビジョン（仮）を描いていくにあたり、さまざまな手法でまちの声を集めることから着手します。まちの声を収集する方法、スケジュールなどは、多摩市が設置する多摩センター地区活性化推進会議のワーキングチームと地域のステークホルダーとで構成するコアメンバー会議において、外部専門家の伴走も得ながら企画します。また、多摩市は、UR（独立行政法人都市再生機構）と、多摩市ニュータウン再生におけるまちづくり推進に関する包括連携協定を令和3年9月に締結していることから、多摩センター地区におけるまちづくりについても連携して進めていきます。

図：ビジョン（仮）を描くステップ



【まちの声を収集する機会】

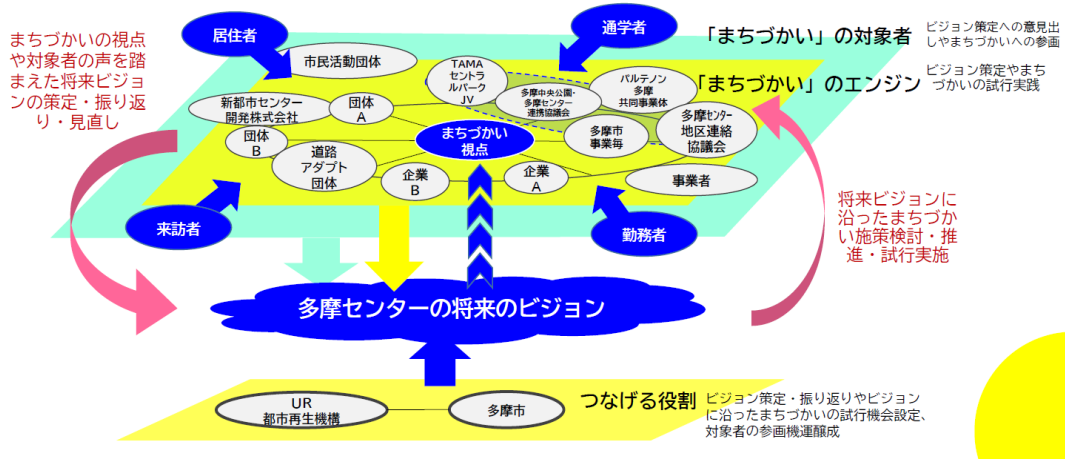
令和4年度、多摩センターでは、多摩センター地区連絡協議会が実施する四季折々の催し、パルテノン多摩グランドオープン、市制施行50周年にあわせたイベントなどが開催されます。また、令和4年6月、多摩市は、TAMAセントラルパークJVと多摩中央公園改修整備・運営事業に係る実施協定を締結し、魅力的な公園づくりを進めています。

ビジョン（仮）策定にあたっては、ワークショップやヒアリング等に加え、地域のイベントでのアンケートなど、多摩センターのさまざまな“機会”をとらえ、まちの声を収集します。

【令和4年6月補正予算】

また令和4年6月定例議会にて、①ビジョン（仮）の策定に係る経費（商工費、経済観光課）と②遊歩道の利用実態調査に係る経費（土木費、道路交通課）に関する予算が可決されました。①については、ワークショップ等の手法により多摩センターのまちの声を集め、ビジョン（仮）を描いていくにあたり、令和5年1月に向け着実に進捗を行っていくため、コアメンバー会議に伴走型支援を委託する費用、また、②については、多摩センター地区の現状のつかい方、使われ方を把握する調査を行う費用を計上しました。

図：ビジョンと地域のステークホルダーとの関係性



<別添資料> ・ 行動指針（令和4年度～令和6年度）～これからの多摩センターのあゆみ方～
 ・ 「多摩センターの未来をデザインしよう」～ワークショップチラシ

問い合わせ

市民経済部経済観光課

電話：042（338）6830

都市整備部都市計画課

電話：042（338）6856

都市整備部道路交通課

電話：042（338）6859

環境部公園緑地課

電話：042（338）6953